

みどりの食料システム戦略に関する 令和 8 年度 of 取組計画等について

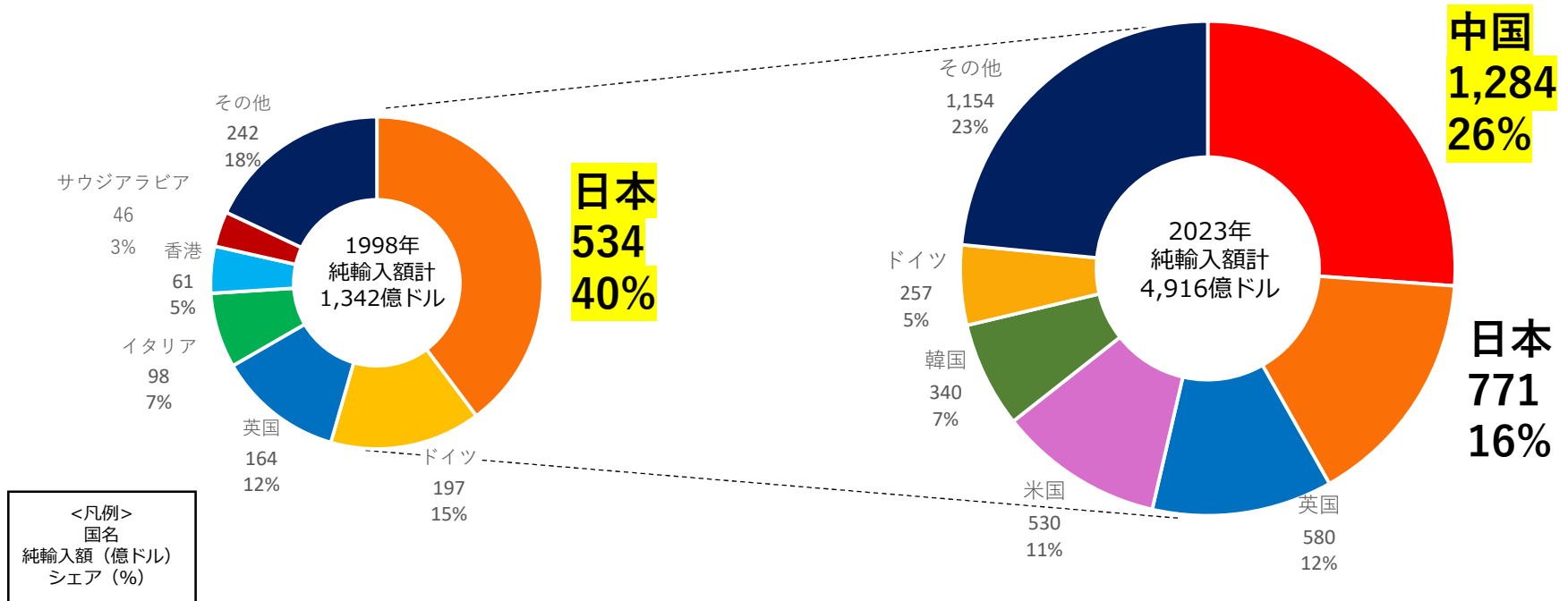
令和 8 年 7 月 9 日
農林水産省九州農政局（鹿児島県拠点）

「みどりの食料システム戦略」について

先々、日本の食料の調達に不安！

- ・ 1998年（平成10年）当時、日本は世界 1 位の農林水産物の純輸入国。
- ・ 現在は、中国が最大の純輸入国となっている。この中で、買付をめぐる競争が激化し、「買い負け」に関するリスクが高まっている。

農林水産物純輸入額の国別割合

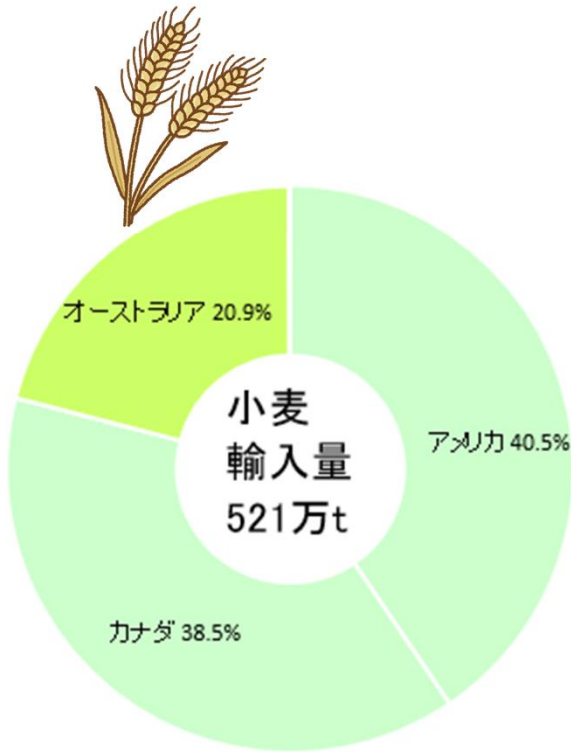


資料：「Global Trade Atlas」を基に農林水産省作成
注：経済規模とデータ制約を考慮して対象とした41か国のうち、純輸入額（輸入額-輸出額）がプラスとなった国の純輸入額から作成。

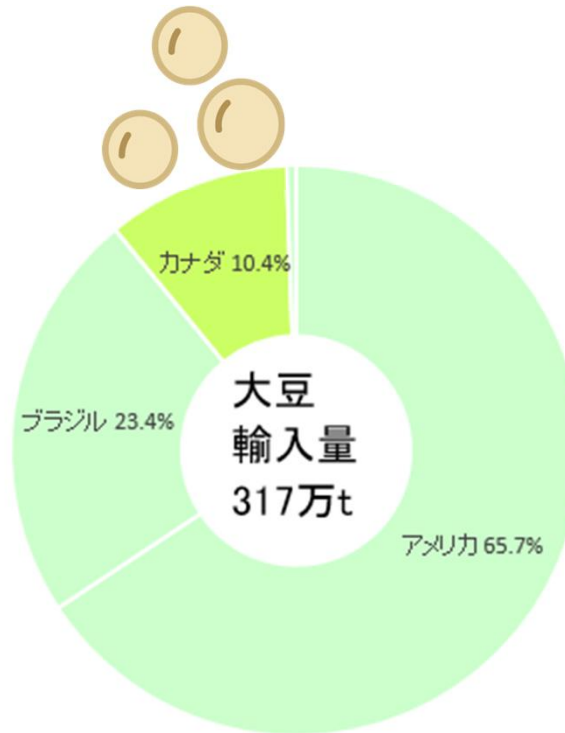
穀物の輸入依存度が高いです！

消費量約3,300万tのうち約2,300万t（約7割）を輸入
国内生産の増大が必要！

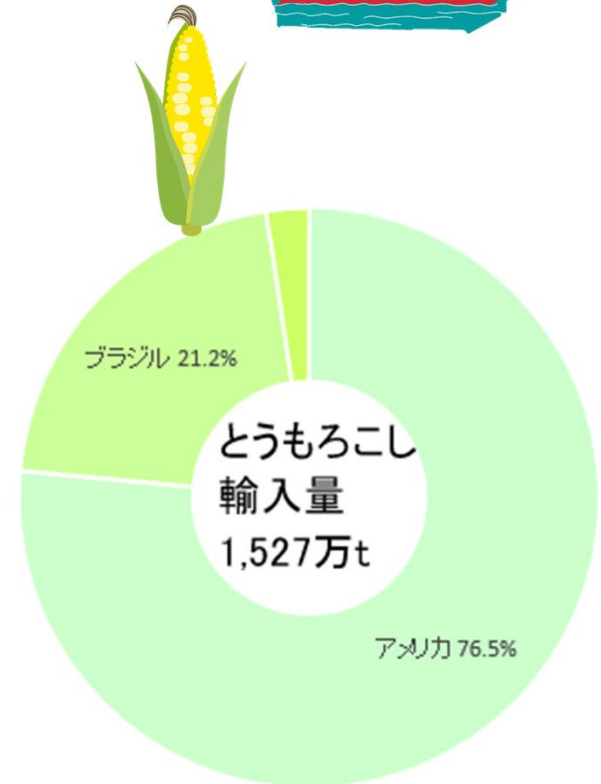
二酸化炭素



資料：令和6年



資料：令和6年



資料：令和6年



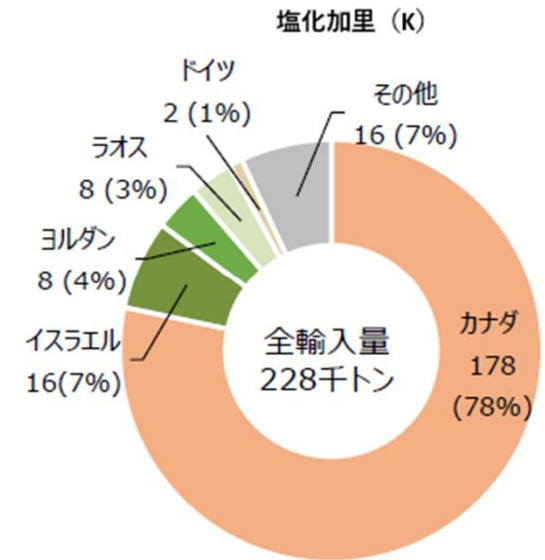
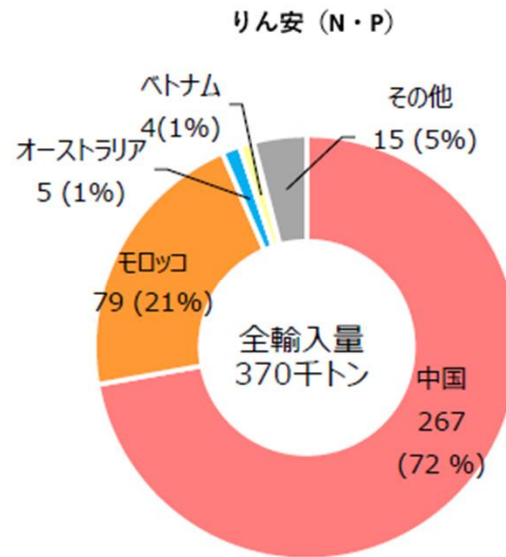
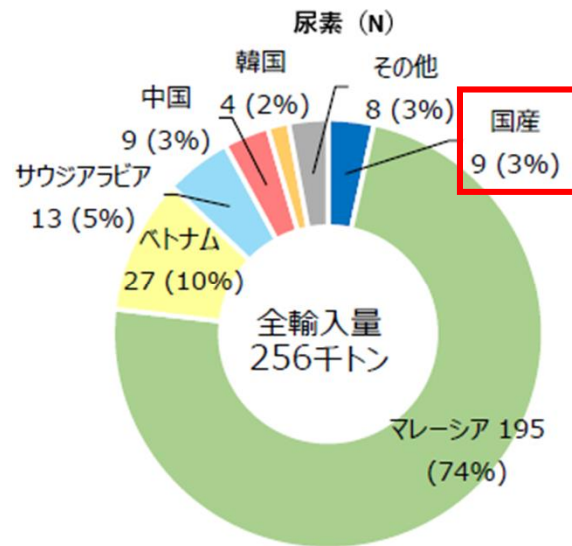
化学肥料・農薬の原料も海外からの輸入です！

化学肥料原料の主原料のほぼ全量を輸入
国内資源への転換が必要！

二酸化炭素



R 6 肥料年度（令和6年7月～令和7年6月）

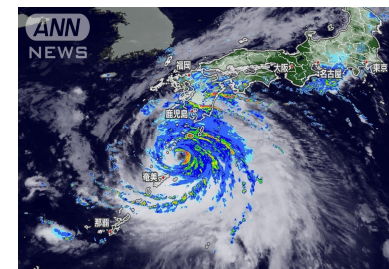


資料：農林水産省作成

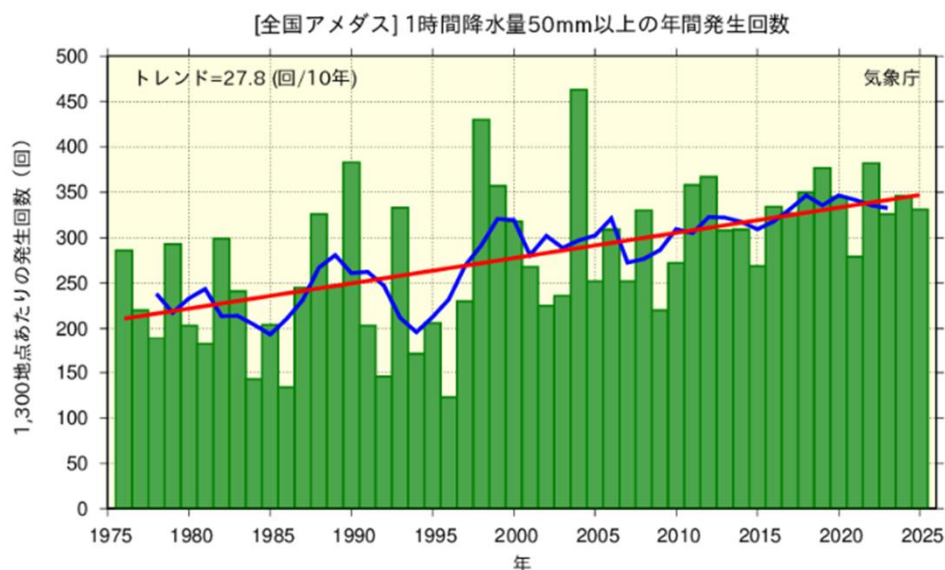
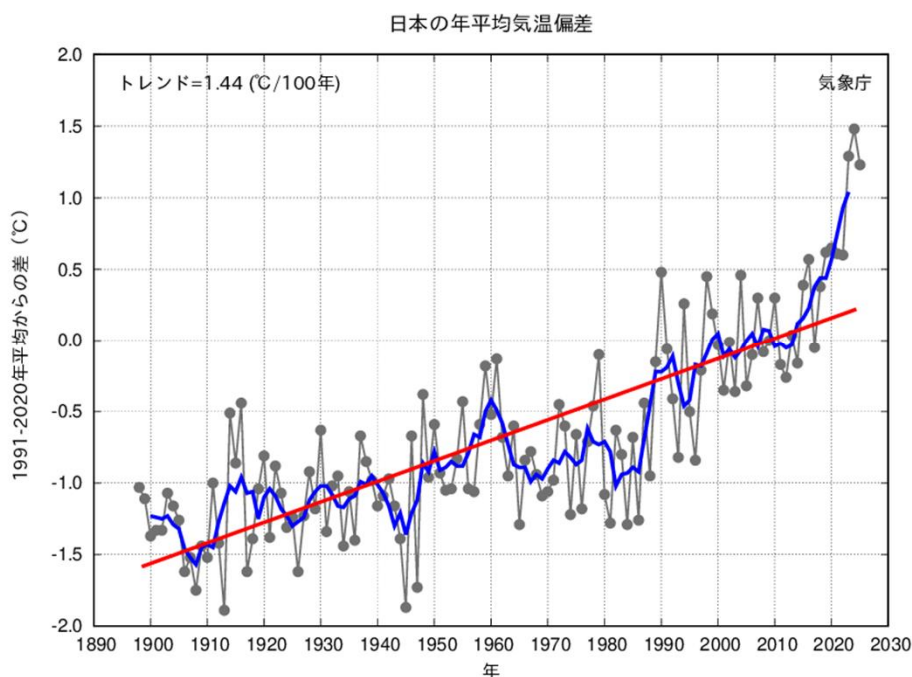


地球温暖化は社会的な問題です！

- 日本の平均気温は、100年あたり1.44°Cの割合で上昇
- 2025年の年平均気温は、
1898年の統計開始以降、3番目に高い値
(2024年が1番目、2023年が2番目に高い値)
- 集中豪雨の発生回数も増加傾向



台風10号（2024年）



折れ線（青）は5年移動平均値、直線（赤）は長期変化傾向（この期間の平均的な変化傾向）を示す。

- ・ 全国各地での記録的な豪雨や台風等による被害が頻発
- ・ 作物の収量減少・品質低下、漁獲量の減少など、国民の生活にも悪影響



九州北部豪雨（2017年）



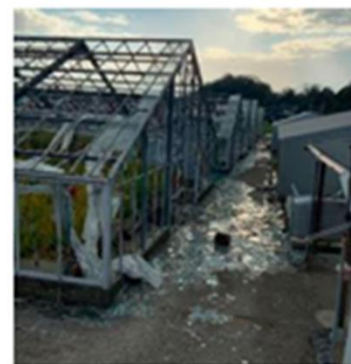
山形・秋田大雨
（2024年）



熊本豪雨（2020年）



河川氾濫によりネギ畑が冠水
（2023年秋田県）



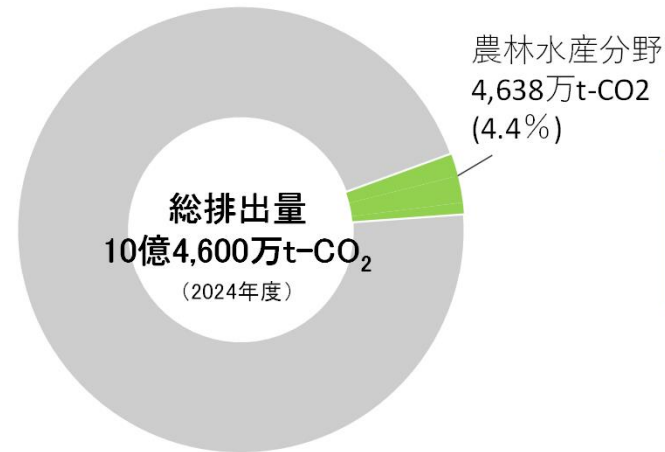
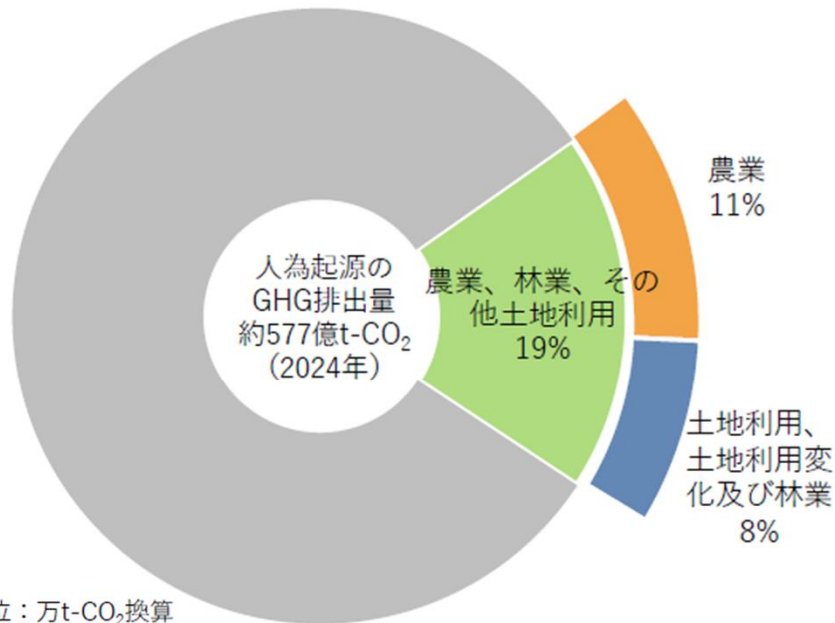
台風で被災したガラスハウス
（2019年房総半島）

農業も環境に影響を与えています！

デジタル技術や国内資源の活用等により環境負荷を抑えることが必要！

世界（約577億 t）

日本（約10億 t）



スマート農業・農業DX

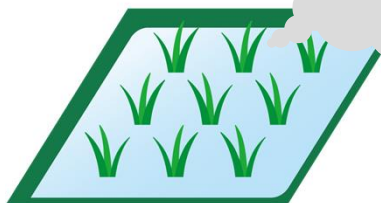
単位：万t-CO₂換算

*「農業」には、稲作、畜産、施肥などによる排出量が含まれるが、燃料燃焼による排出量は含まない。

出典：「国連環境計画（UNEP）Emissions Gap Report 2025（排出ギャップ報告書2025）」を基に農林水産省作成

出典：国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス「日本の温室効果ガス排出量データ」を基に農林水産省作成

メタン



一酸化二窒素



二酸化炭素



可変施肥
ドローン
ヒートポンプ
など

主要国は、以前から、環境政策を進める戦略を策定し、実行しています！

EU

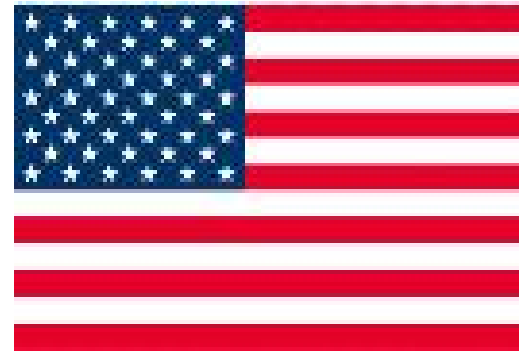


「Farm to Fork戦略」 (2020.5)

2030年までに

- ・化学農薬の使用及びリスクを50%減
- ・有機農業を25%に拡大

USA



「農業イノベーションアジェンダ」 (2020.2)

2050年までに

- ・農業生産量40%増加と
環境フットプリント半減

(注) 環境フットプリントとは、人体の健康、生活の質、生態系など複数の環境影響領域を評価し、一定の算定基準で数値化する方法。

有機食品の国別の売り上げ額は、
アメリカが8兆円超、
ドイツが2兆円超、中国、フランスが1兆円超です！

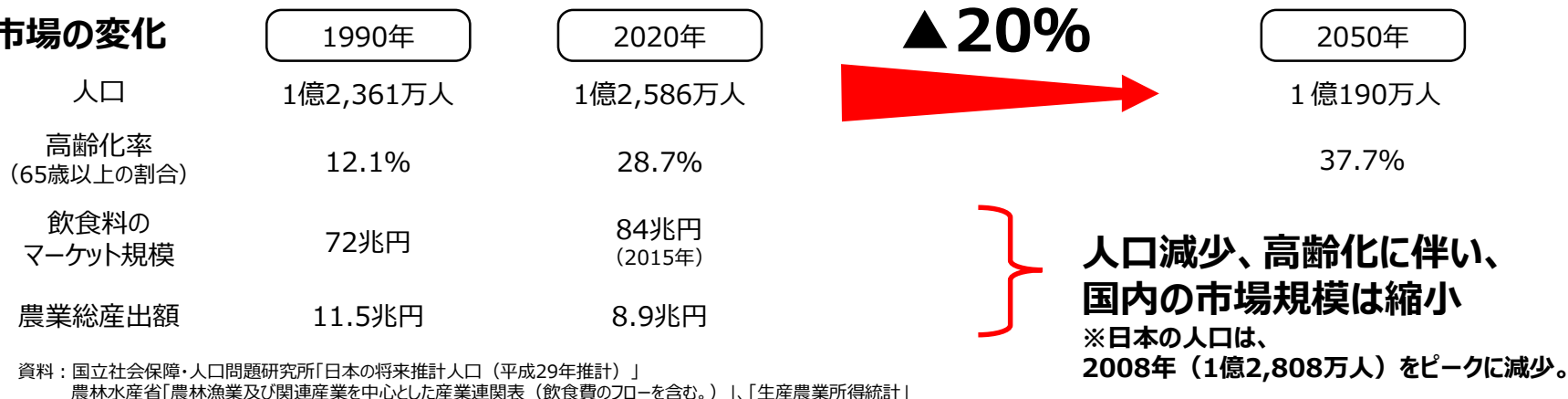
国別の有機食品売上額(2022年)



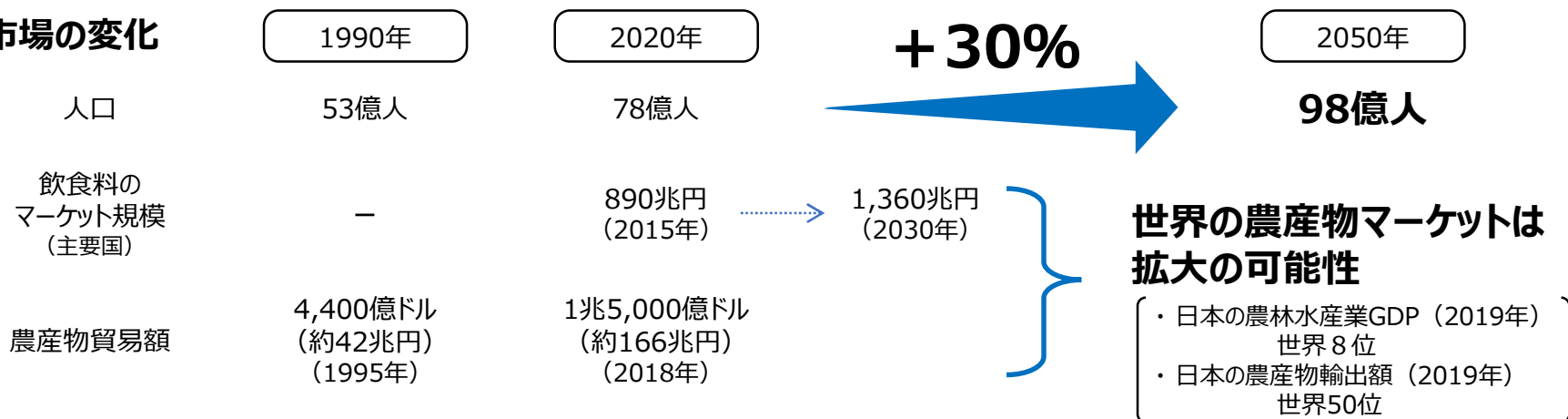
資料 : FiBL & IFOAM「The World of Organic Agriculture statistics & Emerging trends 2024」を基に農林水産省農業環境対策課にて作成

国内の市場規模は、人口減少や高齢化に伴い、縮小！ 一方、世界の農産物マーケットは、 人口の増加に伴い、拡大する可能性があります！

国内市場の変化



海外市場の変化



資料：国際連合「世界人口予測・2017年改訂版」、農林水産政策研究所「世界の飲食料市場規模の推計」、FAO「世界農産物市場白書（SOCO）：2020年報告」

我が国の食料自給率は、40%程度で推移！

食料自給率（カロリーベース）は、

米中心の「日本型食生活」からパンや肉類等中心の「欧米型食生活」への変化の影響等により、

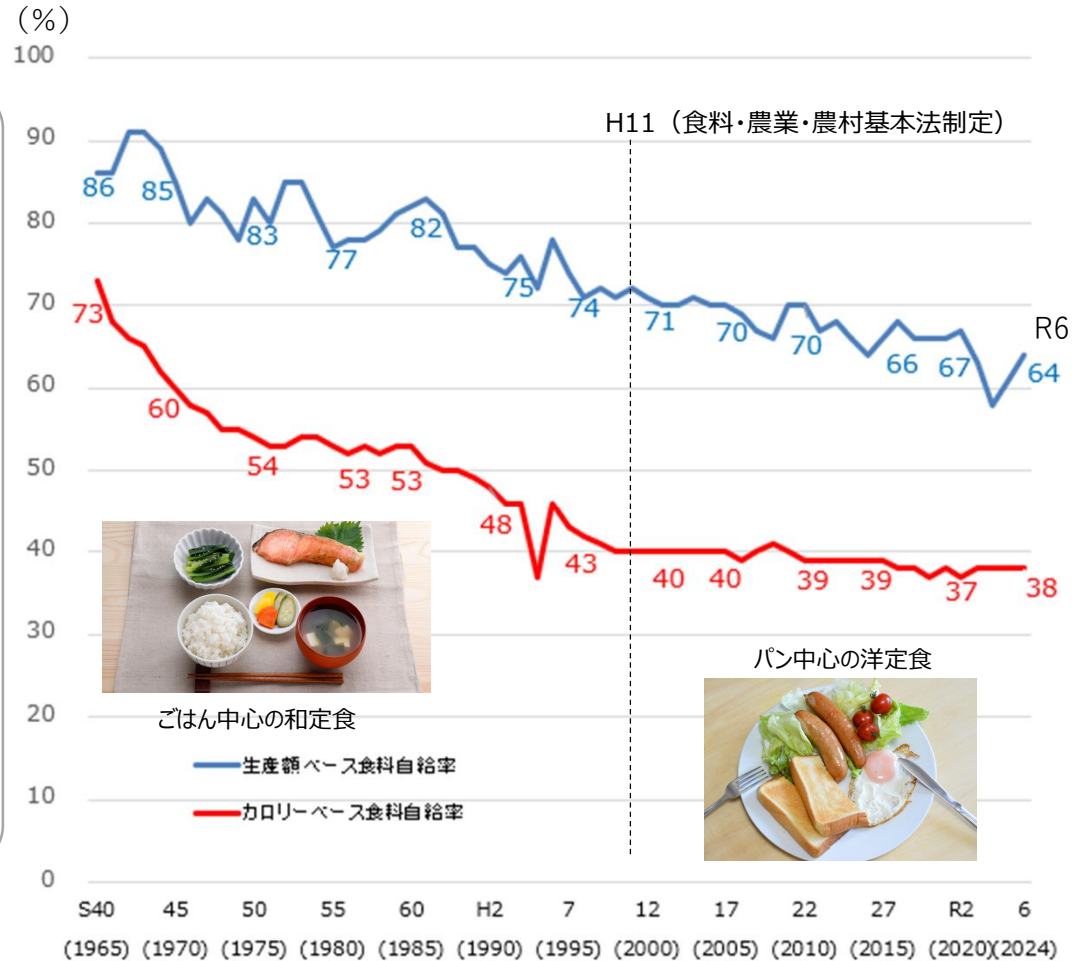
昭和40年～平成10年頃にかけて低下してきたが、その後は、40%程度で推移。

- 食料自給率とは、国内の食料全体の供給に対する食料の国内生産の割合を示す指標。
- 分子を国内生産、分母を国内消費仕向として計算。

食料自給率

$$= \frac{\text{国内生産}}{\text{国内消費仕向}}$$

$$= \frac{\text{国内生産（輸向向けの生産を含む）}}{\text{国内生産（同上）} + \text{輸入} - \text{輸出} \pm \text{在庫増減}}$$



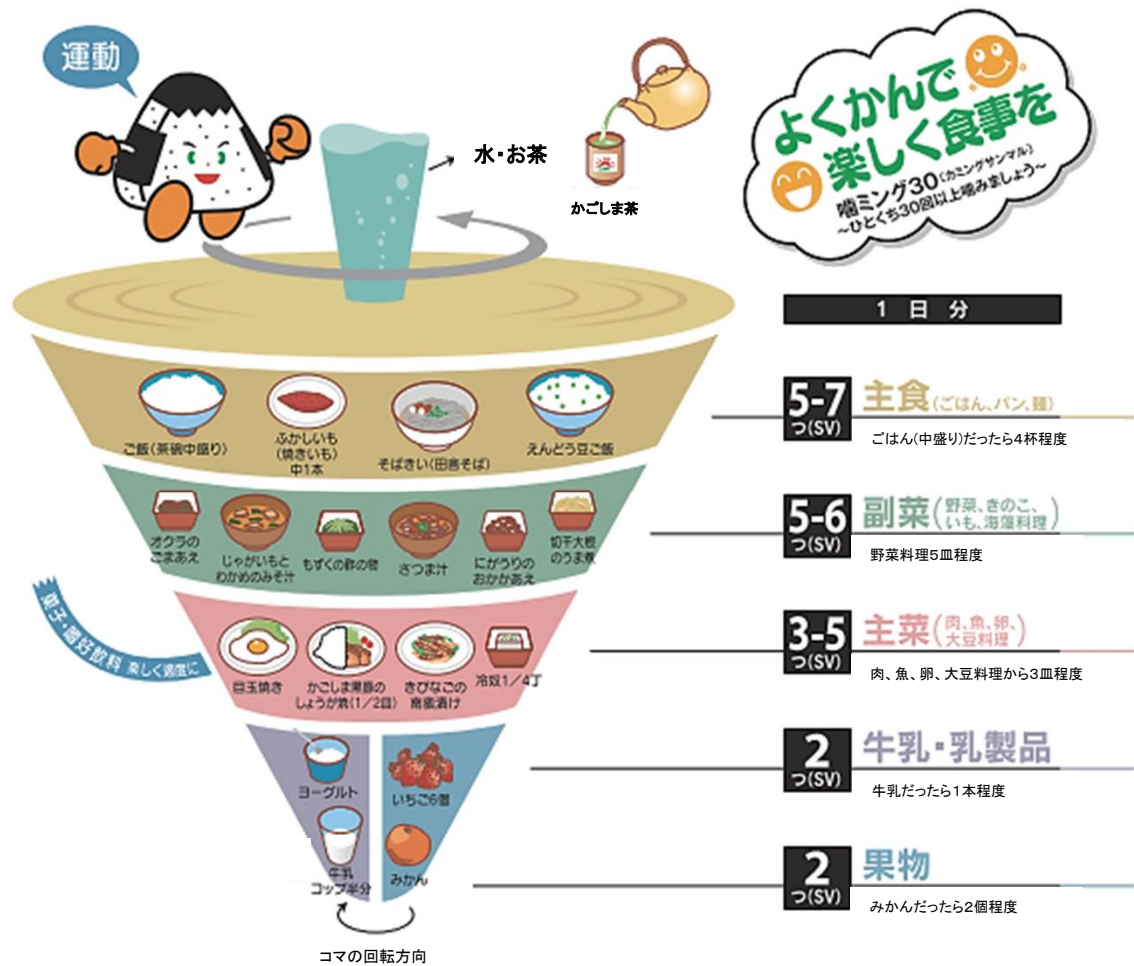
(参考) 米の一人当たり年間消費量

S37年：118.3kg → R6年：53.4kg
(茶わん約5.4杯/日) (茶わん約2.5杯/日)

資料：農林水産省「食料需給表」を基に作成

人間の身体は、水と食べ物で出来ている！

主食、副菜、主菜、牛乳・乳製品、果物の5つのグループ
まんべんなく、コマの形になるように（上の方にあるグループ
ほどしっかり）食べると、食事バランスはOK！



写真提供：鹿児島県栄養士会

食事バランスガイド (かごしま版)

料理例など
詳しく知りたい方は、
こちらから



資料：鹿児島県

米を中心とした日本型食生活も必要！ → 子供・大人の食育

地域の食材を活かして健康で豊かな食生活を!!

毎月第3土曜日は「かごしま生き生き食の日」

かごしまの食材

春(3~5月)



夏(6~8月)



秋(9~11月)

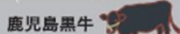


冬(12~2月)



かごしまの食材

鹿児島県の畜産物(通年)



かこしま黒豚



さつま地鶏



牛乳



卵



区分	料理例		料理例		料理例		料理例		区分								
主食	 酒煮し(主食:1.5、副菜:1、主菜:2) かつおの煮つけ(主食:1.5、主菜:2)		 山梨おこわ(主食:2、副菜:1) たけのこご飯(主食:1.5、副菜:1)		 冷や汁(主食:2、副菜:1、主菜:2) ささげご飯(主食:1.5)		 寒すぢとちりめんの炊き込みご飯(主食:1.5、副菜:1) からいもご飯(主食:2)		 大根めし(主食:1.5、副菜:2) 鶏がら汁(主食:1、主菜:1)		 七草がゆ(主食:1、副菜:1) 菜の花粥(主食:1.5)		主食				
	 つわぶきの白煮(副菜:1) あおさのかきあげ(副菜:2)		 湯かき(副菜:4) さのぼりあげ(野菜天ぷら)(副菜:1)		 へちまとソーメンの汁(副菜:1) といもがらの餅(副菜:1)		 かいの汁(副菜:2、主菜:1) かぼちゃの揚げ餅(副菜:1)		 とうがんの煮込み(副菜:4、主菜:1) さつまいものサラダ(副菜:1、主菜:1)		 大根のよこし(白和え)(副菜:1) きのこのずり焼き(副菜:1、主菜:1)		 かんづめの親子汁(さつまいも菜の花の親子汁)(主食:1、副菜:1) いもんせんの煮しめ(副菜:2)		 ひろあぎ(副菜:2、主菜:1) さつま揚げ(副菜:2、主菜:1)		副菜
主菜	 鶏肉の香ばし(副菜:2、主菜:3) かつおのたたき(副菜:1、主菜:3)		 あさりのみそ汁(主菜:1) アオリイカのさしみ(主菜:2)		 牛乳とビーマンの卵めし(副菜:1、主菜:2) きびなこのオーロラソース(主菜:1)		 とびうどの開き(主菜:2) うなぎの焼焼き(主菜:3)		 おばき(副菜:2、主菜:3) 鮭の切身(主菜:2)		 もんごんます(大根とさばのます)(主菜:1) いゆみず(魚のみそ和え)(主菜:1)		 ぶり大根(副菜:2、主菜:2) 露布焼き(副菜:1、主菜:2)		 きびなこと(きんぎょのおつけ)(主菜:1) こが焼き(主菜:2)		主菜
	牛乳・乳製品		牛乳・乳製品		牛乳・乳製品		牛乳・乳製品		牛乳・乳製品								
果物	 紅甘 1/2個 メロン 1/8個		 パッションフルーツ 2個 ぶどう 1/2房		 温州みかん(ハウス) マンゴー 1/4個		 温州みかん(暖房生、早生、普通) かし		 いちご6個 ぽんかん		 デコポン かんかん5個		 佐賀小ミカン4個 サワーペロム 1/2個		果物		
	数字は1つ当たり100gです。		数字は1つ当たり100gです。		数字は1つ当たり100gです。		数字は1つ当たり100gです。		数字は1つ当たり100gです。								
健康食品	 あくまき2切れ ふつち1個		 かからん1個 いこも1切れ		 さつま揚げ1枚 がじゃき20粒		 ふくれ菓子1切れ げんたは1切れ		 かんかん1個 豆乳100ml		 けんたん1本 ゆべし1切れ		 からいもんねったば1個 こっばもち1切れ		 きんかん漬け38粒 からいもみ3個		健康食品
	1月の月給は2000円です。		1月の月給は2000円です。		1月の月給は2000円です。		1月の月給は2000円です。		1月の月給は2000円です。								

伝統行事と
行事食(例)

ひなまつり (3月: さつますもじ、よもぎ団子、三角餅)
春分・彼岸 (3月: ぼたもち)
端午の節句 (5月: あくまき、かからん団子、つのまき)
お田植え祭り (5月: 寄しめ、ぼたもち)

七也

盆 [8月:煮しめ、かいのこ汁、おはぎ、
米ん粉団子、落花生豆腐]

十

十五夜〔9月：月見団子、しんこ団子、あんの餅〕
秋分・彼岸〔9月：おはぎ〕
豊穡祭り〔11月：甘酒、からいもんあん餅〕

卷十

全〔12月：かぼちゃの煮物〕
 日〔12月：餅、栗ん納豆〕
 月〔1月：おせち、こがやき、八頭の雑煮〕
 年〔1月：七草がゆ〕 小正月〔1月：稚虫ひきき〕

传统行事
行事食(例)

鹿児島県内で作られたものを食べると、地産地消！
例えば、学校給食、外食、家庭の食卓・・・
今日のメニューの食材は、
何だろう？ どこで作られているんだろう？
どんな栽培方法なんだろう？

きびなご：□□産

牛乳：◇◇産

黒糖：▽▽産

米：○○産

野菜：△△産



写真提供：鹿児島市郡山学校給食センター

地産地消・・・消費者も安心して食料を調達。 農業者も売り先がはっきりして、安心！



県内産の食材や地場産の有機野菜を活用



写真提供：始良市



スーパー、直売所など



鹿児島県産農産物



家庭での食事

地球温暖化等の課題に対応するため、2050年を目標に、 「みどりの食料システム戦略」を策定しました！

(令和3年5月)

令和4年に、「みどりの食料システム法」を施行！

➤ 農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現

(注) CO2ゼロエミッション化とは、2050年までに化石燃料起源のCO2排出量をゼロにすること。

➤ 化学農薬の使用量 (リスク換算) を50%低減

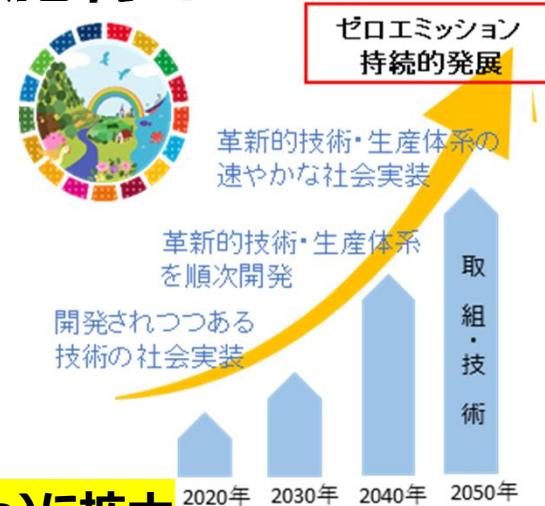
(基準：リスク換算値23,330 (2019年) ⇒ 実績：リスク換算値19,839 (2023年現在) 約15.0%減)

➤ 輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%低減

(基準：90万トン (2016年) ⇒ 実績：68万トン (2023年現在) 約25.0%減)

➤ 耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%(100万ha)に拡大

(基準：2.35万ha (2017年度) ⇒ 実績：3.45万ha (2023年現在) 約0.8%拡大)



経済



持続的な産業基盤の構築

・輸入から国内生産への転換

(肥料・飼料・原料調達)

・国産品の評価向上による輸出拡大
など

社会



国民の豊かな食生活 地域の雇用・所得増大

・生産者・消費者が連携した

健康的な日本型食生活

・地域資源を活かした地域経済循環
など

環境

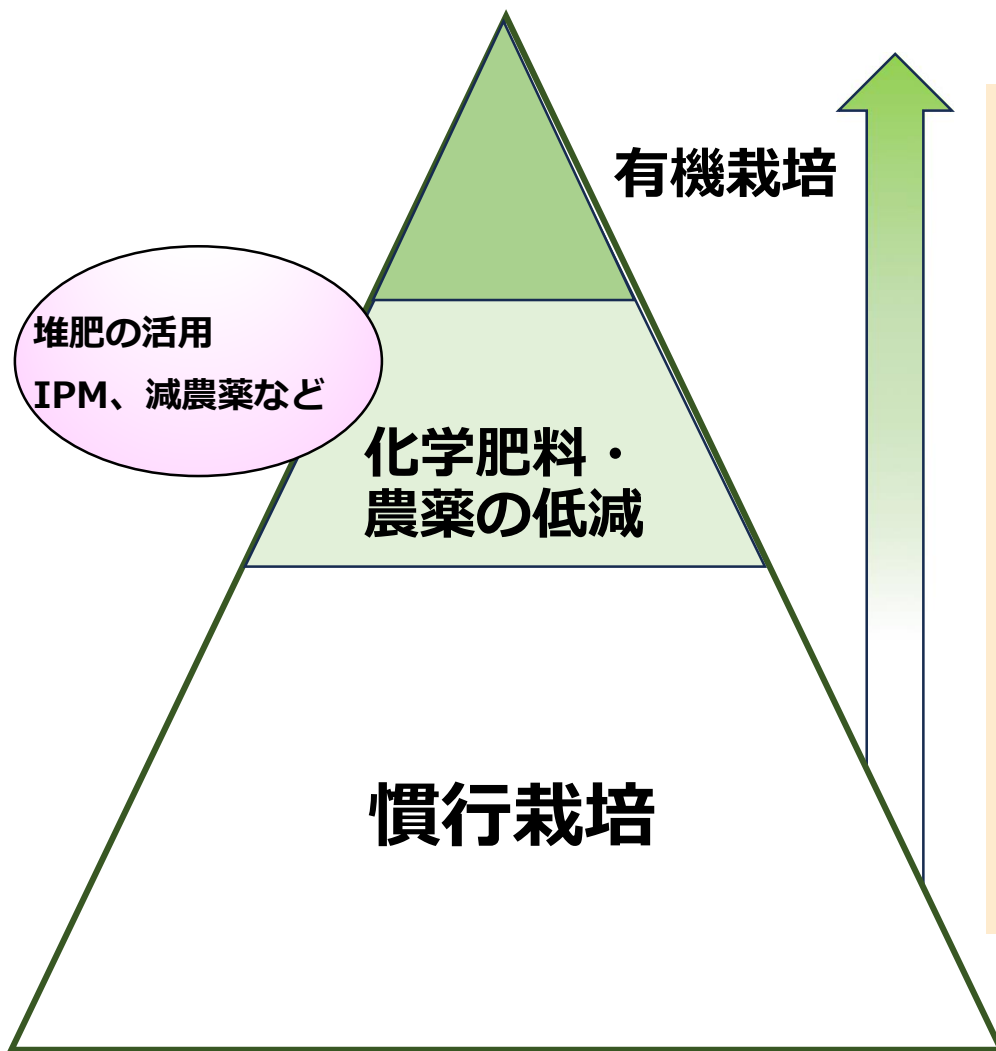


将来にわたり安心して 暮らせる地球環境の継承

・環境と調和した食料・農林水産業

・化石燃料からの切替による
カーボンニュートラルへの貢献
など

(参考) 地域の実情を踏まえた 環境にやさしい農業への転換の考え方



- ・ みどりの食料システム戦略では、化学肥料・農薬の使用量の低減、有機農業の拡大を推進。
- ・ **環境負荷低減**に取り組みつつも、**農業所得を十分に確保し、農業経営を継続**できることが大切。
- ・ **地域の風土、作物の特性**なども踏まえ、まずは、**できることから始める**ことが適当。

有機農業等を広げるための主な政策支援

(みどりの食料システム法)

制度資金

- ・ 農業改良資金の特例（無利子）
- ・ 新事業活動促進資金（低利融資）など

税制措置

(青色申告)

- ・ みどり投資促進税制（特別償却）
所得税・法人税

消費

各種補助

- ・ 学校給食での利用（食材調達など）※
- ・ 環境教育、食育の推進（セミナーなど）
- ・ 域外の消費地との連携（消費拡大など）※
など

流通

各種補助

- ・ 農業者と事業者のマッチング（PR販売など）※
- ・ 物流の効率化（機械、施設の整備など）
- ・ 有機農産物の加工品の製造（機械、施設の整備など）
- ・ オーガニックプロデューサーの派遣（販売戦略の提案・助言など）
など

みえるらべる
環境負荷低減の
取組の見える化



生産

各種補助

- ・ 新たな栽培技術の実証※
- ・ 有機農業への転換（初年度20,000円以内/10a）
- ・ 環境保全型農業直接支払交付金（有機14,000円/10aなど）
- ・ 環境負荷低減に資する機械、施設の整備
- ・ 人材育成（農業者向け研修など）
など

Jクレジット

温室効果ガスの排出・
吸収量をクレジット化

農林水産省の
全ての補助金等に
「みどりチェック」
あり

生産から消費まで、一貫して有機農業を推進する地域ぐるみの取組

オーガニックビレッジ※

各種補助

- ・ 1年目 有機農業実施計画（検討会の開催・試行的な取組）（上限1,000万円）
- ・ 2年目 計画に基づく取組の実践（上限800万円） など

◎ 産地と消費地が連携した消費拡大の取組（上限200万円を加算）

注：R7年度予算をベースに作成

鹿児島県も、「みどり食料システム法」の下、 環境負荷の低減に関する目標を策定しています！

【みどりの食料システムの実現に向けた指標】

化学農薬の使用量の減少 34kg/ha ⇒ 31kg/ha (R12)

化学肥料の使用量の減少 272kg/ha ⇒ 218kg/ha (R12)

有機農業取組面積の拡大 999ha ⇒ 2,000ha (R13)

(有機JAS認証取得割合) (80%) (90%)

バイオマス利用拡大 88% ⇒ 96% (R7)

産業部門における温室効果ガスの排出量の減少

2,388千トンCO₂ ⇒ 1,308千トンCO₂ (R12)

注1) 化学農薬使用量は、県内の農薬流通量（経営技術課調べ）を、延べ耕地面積で除したもの、目標は国基本方針の化学農薬使用量低減目標に準ずる。

注2) 化学肥料使用量は、主要肥料(10種類)都道府県別出荷量（(一財)農林統計協会「ポケット 肥料要覧」より）を延べ耕地面積（飼肥料作物を除く）で除したもの、目標は国基本方針の化学肥料使用量低減目標に準ずる。

注3) 有機農業取組面積及び有機JAS認証取得割合は、「鹿児島県有機農業推進計画」（令和3年3月）、バイオマス利用率は、「鹿児島県バイオマス活用推進計画」（平成29年3月）、産業部門における温室効果ガス排出量は「鹿児島県地球温暖化対策実行計画」（令和5年3月）による。

みどりの食料システム法に基づく認定

＜都道府県が認定＞

都道府県



市町村



農業者

環境負荷低減事業活動
の実施に関する計画

- ・ 農業経営の概況
- ・ 環境負荷低減活動
の内容、目標
などを記載

＜主な支援＞

- ・ 設備投資の際の
所得税・法人税の優遇
- ・ 国庫補助金の採択での優遇
- ・ 日本政策金融公庫の
農業改良資金等の貸付け
など

※ 令和9年度を目標に、
環境保全型農業直接支払交付金等
については、
みどりの食料システム法の認定を受
けた農業者を支援する、新たな仕組み
に移行することを検討。

(参考) みどりの食料システム法に基づく農業者の認定数(令和8年5月末)

都道府県	認定者数（経営体数）	都道府県	認定者数（経営体数）
北海道	395	滋賀県	58
青森県	135	京都府	428
岩手県	4,752	大阪府	30
宮城県	2,157	兵庫県	183
秋田県	258	奈良県	111
山形県	204	和歌山県	777
福島県	658	鳥取県	75
茨城県	1,015	島根県	323
栃木県	2,059	岡山県	74
群馬県	673	広島県	55
埼玉県	187	山口県	307
千葉県	261	徳島県	294
東京都	15	香川県	174
神奈川県	153	愛媛県	1,282
山梨県	219	高知県	805
長野県	247	福岡県	36
静岡県	459	佐賀県	81
新潟県	201	長崎県	925
富山県	780	熊本県	2,455
石川県	897	大分県	97
福井県	11,175	宮崎県	159
岐阜県	155	鹿児島県	529
愛知県	368	沖縄県	383
三重県	184	合計	37,248

※みどりの食料システム法に基づき、環境負荷低減事業活動実施計画又は特定環境負荷低減事業活動実施計画を作成し、都道府県知事の認定を受けた者。

みどりチェック

- 環境負荷低減の取組を推進するため、農林水産省の全ての補助事業等において、チェックシート方式により、最低限行うべき環境負荷低減の取組の実践を要件化。



農林水産省ホームページ

（農林水産省の全補助事業に対する環境配慮のチェック・要件化（みどりチェック））

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/kurokon.html>

J-クレジット制度の活用

- ・ J-クレジット制度とは、
事業者の温室効果ガスの排出・吸収量を「クレジット」として
国が認証する制度。
- ・ クレジットは、売買することが可能。

<対象となる取組例>

バイオ炭の農地施用



水稻栽培における中干し期間の延長



ヒートポンプ空調設備の導入



木質バイオマス加温機の導入



温泉熱を利用した加温システムの導入



固液分離機による家畜排せつ物
管理方法の変更



農林水産省ホームページ（農林水産分野のJ-クレジット制度）

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/climate/jcredit/top.html>

農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」

- 化学肥料・化学農薬の使用低減などの栽培情報を用いて、温室効果ガス削減への貢献の度合いを、星の数で表示。

(米の場合の例)

生物多様性保全への配慮

<取組一覧>

化学農薬・化学肥料の 不使用	2点
化学農薬・化学肥料の 低減 (5割以上10割未満)	1点
冬期湛水	1点
中干し延期または中止	1点
江の設置等	1点
魚類の保護	1点
畦畔管理	1点

★ :取組の得点1点
★★ : " 2点
★★★: " 3点以上

見る × 選べる
≡
みえるらべる



【鹿児島市の店舗の様子】



(参考) 「みえるらべる」の対象品目

	露地栽培のみ対象	施設栽培のみ対象	露地栽培も 施設栽培も対象
穀物	米		
野菜	ほうれんそう、白ねぎ、たまねぎ、 はくさい、キャベツ、レタス、 だいこん、にんじん、 アスパラガス	ミニトマト、いちご	きゅうり、なす、トマト、 ピーマン
果実	りんご、日本なし、 もも		温州みかん、ぶどう
いも	ばれいしょ、かんしょ		
その他	茶		

農林水産省ホームページ（見つけて！農産物の環境負荷低減の取組の「見える化」）

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/being_sustainable/mieruka/mieruka.html#mieruka_join

(参考) 鹿児島県における「みえるらべる」の取得状況

令和8年6月現在、5組織、5品目で「みえるらべる」を取得！

組織名	市町村名	品目	等級情報	
			温室効果ガス削減	生物多様性保全
まるよし農産工業	阿久根市	米	★★★	★★
株式会社Farmers Villa Ume	志布志市	ピーマン	★★★	—
アグリ福ちゃん	薩摩川内市	かんしょ	★★	—
		白ネギ	★★★	—
		にんじん	★★★	—
ドリームファーム株式会社	伊佐市	白ネギ	★★★	—
岡山フードサービス株式会社	南九州市	かんしょ	★★★	—

鹿児島県内の取組事例 (ほんの一例)

(参考) 堆肥等の地域資源を活用した肥料 (鹿児島市：JA鹿児島県経済連)

JA鹿児島県経済連は、化学肥料の原料価格高騰に対応するため、
畜産堆肥を活用した低コスト肥料（堆肥と化学肥料を混合したペレット肥料）
を開発

主に、茶用、園芸用として販売



(株) JA物流かごしま 肥料工場



ミドリッチ茶1号、ミドリッチ茶2号、アグリッチ888

(参考) バイオ液肥の活用

(東串良町：株式会社吉ヶ崎農園)

**家畜排せつ物をメタン発酵させ、バイオガスを発生させる
「バイオガスプラント」での副産物（バイオ液肥）を活用
し、キュウリを生産
実用化に向けて、実証中**



**本部農場バイオガスプラント
(宮崎県新富町)**



**バイオ液肥を灌水チューブを使用して施肥
(東串良町・吉ヶ崎農園)**



(参考) 下水汚泥の利用 (鹿児島市水道局下水汚泥堆肥化場)

下水汚泥を利用した肥料を開発
年間約1万トンの製造・販売



下水汚泥発酵肥料「サツマソイル」



発酵中の堆肥



完成した堆肥

(参考) 衛星データを活用した可変施肥の実証 (さつま町：鹿児島県×ザルビオ)

ザルビオの衛星とセンシングデータを活用し、土壌や生育状況に応じて、必要な場所に必要な量だけ施肥
これにより、化学肥料の使用量が減

実際の収量データマップ



地力マップが示す地力



土壌等の状況に応じて適量の肥料を投入

(参考) 組合で有機農業 (鹿児島市：かごしま有機生産組合)

**生産農業者数 約165名
うちJAS有機認証済 約100名**



有機農産物の直営店（「地球畑」）



有機JAS法に対応した育苗（始良市）



有機JAS認証の自社工場で加工品を製造

かごしま有機生産組合のホームページ

<https://kofa.jp/>

(参考) IPM農法によるオクラの生産 (指宿市：JAいぶすきエコオクラグループ)

天敵昆虫等を活用し、
化学農薬の使用量を減

会員23名 栽培面積6.4ha



ハウス栽培オクラ



露地栽培オクラ



生育中のオクラと花

- ・ オクラ畑の周りにバンカー植物（ソルゴー）を栽培。
- ・ ソルゴーには、オクラに害のないアブラムシが発生。そこに益虫のテントウムシ等を呼び込む。
- ・ そして、テントウムシ等がオクラに繁殖したアブラムシも食べる。

<オクラ>

<ソルゴー>



ヒメカメノコテントウ

VS



アブラムシ

(参考) IPM農法によるピーマンの生産 (志布志市：JAそお鹿児島島ピーマン部会)

天敵昆虫等を活用し、
化学農薬の使用量を減

会員100名 栽培面積28ha



生育中のピーマン



ヒメカメノコテントウ

VS



ヒエノアブラムシ

(参考) JGAPを取得し、減農薬栽培 (薩摩川内市：有限会社松田農場)

金柑では、日本初の「JGAP」を2013年に取得
有機肥料を活用しつつ、減農薬栽培を実施



(参考) 有機栽培の桑葉で 6 次産業化 (始良市：株式会社わくわく園)

「消えゆく桑の葉に再び光を」、
「食べるものが体を作る」の考えで、
有機栽培による桑葉の生産



有機JAS認定圃場（桑葉）



有機JAS認証工場で桑茶などを製造
(自社完結型ビジネスモデル)



観光地の売店でも販売

(参考) ナノファイバーで減農薬 (薩摩川内市：須賀農園)

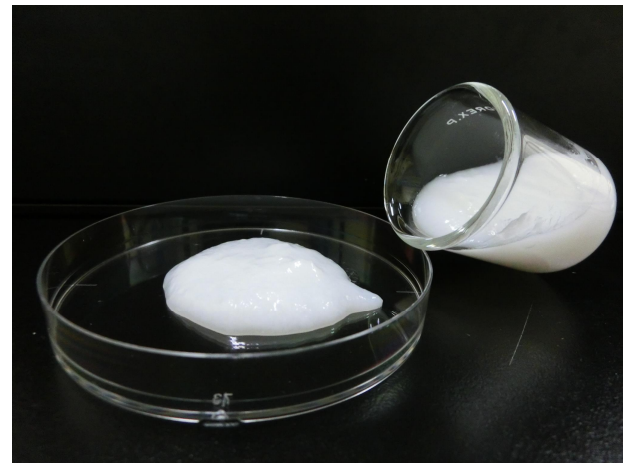
中越パルプが開発したセルロースナノファイバー（竹の抽出液で細菌等の侵入を防ぐ効果がある）を用いた物理的防除により、化学農薬の使用低減に寄与



ハウス内の鉢植えアジサイ



栽培中のラナンキュラス



ナノファイバー

(参考) みえるらべるの取得 (阿久根市：まるよし農産工業)

まるよし農産では、鹿児島県内で初めて「みえるらべる」を取得

令和6年産のお米に「みえるらべる」を表示して販売



まるよし農産工業の代表



取得された「みえるらべる」

堆肥の使用（化学肥料の散布ゼロ）や中干し延長（メタンガス排出の削減）を行うことで、温室効果ガス排出量の削減貢献率が20%以上となり、3つ星★★★★を取得

化学農薬・化学肥料の使用量の低減（5割以上減）や中干し延長を行うことで、生物多様性保全への配慮の取組が2得点となり、2つ星★★を取得

(参考) 産学官金の連携協定によるGX推進 (鹿児島県×民間事業者等)

鹿児島県は、令和6年4月に、
味の素(株)、畜産関係団体・事業者、
鹿児島大学、金融機関と産学官金の連携
協定を締結

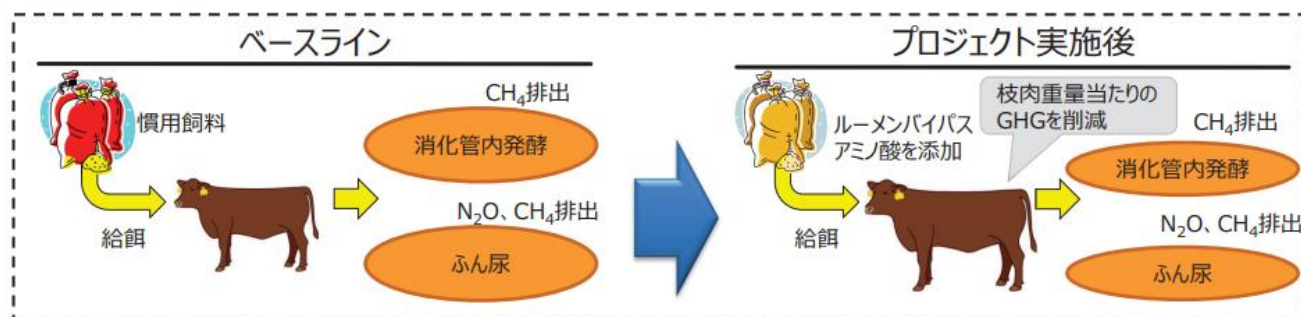
牛用アミノ酸リジン製剤(栄養吸収率を高める
飼料用アミノ酸)を活用し、
肉用牛の飼養期間を短縮することにより、
牛からの温室効果ガスの排出量を削減

Jークレジット制度を活用し、
肉用牛の高付加価値化、
新たな販路開拓に挑戦



牛用アミノ酸リジン製剤を活用
して飼養された肉用牛

【方法論のイメージ】



(参考) 環境保全型農業体験学校 (南さつま市：ありのまま分校)

平成27年度開校

委託先 MOA自然農法文化事業団

参加者 市内外の自然農法に興味のある者（子供も参加）

卒業生 10年間で約400名

授業内容 土づくり、植付け、栽培、収穫、販売、加工など



植付



収穫



収穫祭



加工（豆腐作り）

(参考) 県内初の食育優良法人 (鹿児島市) (そのやま農園株式会社)

有機野菜の生産・販売をはじめ、弁当、総菜などの加工品の製造・販売も実施。

農林水産省が認定する、
「食育実践優良法人2026」に選ばれる。

年複数回、自社の農園で従業員向けの研修を開き、化学肥料・農薬を使わないこだわりを伝えるなど、食育活動に積極的。



(参考) 焼酎粕の再利用の取組

濱田酒造株式会社

(鹿児島県いちき串木野市)

- ・ 「焼酎粕」の再利用
(酒造メーカー5社の共同事業)

「焼酎粕」をメタン発酵させ、
バイオガスを取り出し、
ボイラーの燃料として活用



家畜の飼料や堆肥の原料などにも利用

- ・ LED照明の切り替えや、
重油からLNGへの燃料転換
など、省エネ活動を推進

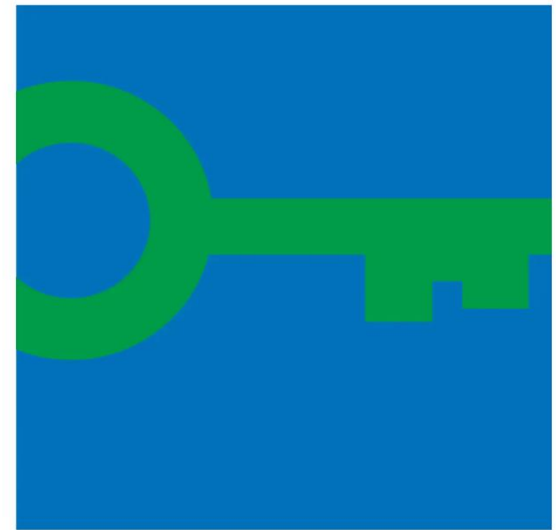


(参考) GreenKeyの取得、環境負荷低減の取組

シェラトン鹿児島

(鹿児島県鹿児島市)

- ・ 2024年10月に、**国際的な環境認証**
「Green Key (グリーンキー)」を取得
現在も継続して更新
(13のカテゴリ、75の必須項目と75の努力項目で構成)
- ・ **サステナビリティチーム**の発足
従業員向けにゴミのリサイクルに関する研修
気候変動などの環境問題に関する講習を定期的を実施 など
- ・ **地産地消とフードロス**への取組
県内の市町村と連携し、地元食材の魅力を発信する食のフェアを開催
循環型リサイクルも始動 (生ごみを堆肥化、それを散布して育てた高菜をホテルで使用)



Green Key

(参考) エコアクション21の取組

マトヤ技研工業株式会社

(鹿児島県曽於市末吉町)



- ・ 社用車14台のうち10台を**エコカー**に変更 → 運転に伴う二酸化炭素の排出量
4万8036キロ→3万3729キロに減
- ・ エアコンを**省エネモデル**に変更 → 電力使用に伴う二酸化炭素排出量
6万1252キロ→5万8305キロに減
- ・ 照明を全て**LED**にして休憩中は消灯
- ・ 製品を作る際に出る**アルミや鉄などの金属くずの分別**を徹底 → 4年連続でリサイクル率90%以上を達成 (一般ごみの分別も徹底するなど、環境守るという意識が社全体に根付いた)

みどりの食料システム戦略の実現に向けた 九州農政局鹿児島県拠点の取組 (令和7年度/8年度)

**「みどりの食料システム戦略推進鹿児島ネットワーク」の
会員等の皆さんの取組を支援するためのイベントを企画**

令和7年度の取組

	第一四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
取組時期	・みどり鹿児島NW報告会 4/21（月） ・みどりの食料システム戦略推進鹿児島ネットワークへの加入の促進 ・消費者向けセミナー（料理教室：あきの舞、ジビエ、有機食材、IPMオクラ） 6/21（土） ・「オーガニックビレッジ宣言」に向けた市町村長への要請活動	・みどり鹿児島NW報告会 7/29（火） ・消費者向けセミナー（料理教室：有機夏野菜・有機黒糖等） 9/27（土） ・環境にやさしい農産物（IPMオクラ）のPR販売 7/27（日）	・みどり鹿児島NWディスカッション 11/26（水） ・環境にやさしい農産物のPR販売 12/6（土）～7（日） ・オーガニック・地産地消等ツアールートの更新・PR 11/22（土）～23（日）オーガニックフェスタで配布 ・農業系高等学校等への出前授業の実施	・みどり鹿児島NW報告会 3/12（木） ・消費者向けセミナー（料理教室：農業女子PJとのコラボ） 1/31（土） ・環境にやさしい農産物のPR販売 2/7（土）、8（日）、21日（土）

みどりの食料システム戦略に関心
を持っていただく方を増やし、
戦略に関する取組を、より一層推進
していくため、

「みどりの食料システム戦略推進
鹿児島ネットワーク」を運営。

消費者、農業者、農業者団体、自
治体、民間事業者等の皆さんが参加。

令和 7 年 3 月現在 32

令和 8 年 6 月現在 71

会員等の皆さんのニーズに対応し、
各地でセミナーを開催。

「これからは、環境にやさしい農業
と地産地消が大切！」がテーマ。

みどりの食料システム戦略推進 鹿児島ネットワークに参加しませんか？

会費は無料です!!

ネットワークの会員になっていただくと

- ・ みどりの食料システム戦略に関する施策の情報を提供
- ・ 各種イベントのご案内や取組事例等のご紹介をさせていただきます

令和 7 年度の主なイベント



みどりの食料システム戦略に関する
講演活動



オーガニック・地産地消ツアールートの
更新・PR活動



環境にやさしい食材を使用した料理
教室・セミナー（県栄養士会と共催）



環境にやさしい農産物のスーパー
でのPR販売

会員登録は、WEBで

https://www.contactus.maff.go.jp/j/kyusyu/form/kagoshima_network_new.html

登録の方は
こちら



【お問合せ先】
農林水産省九州農政局鹿児島県拠点
TEL:099-222-5840
E-mail:kagoshima_sanjikan@maff.go.jp

みどりの食料システムの普及活動

(これからは、環境にやさしい農業と地産地消が大切！をテーマに講演)

	講演実施日	対象者
会員向け セミナー	令和7年6月17日	日置市地域女性連絡協議会会員等
	令和7年7月15日	鹿児島県食生活改善推進員連絡協議会会員等
	令和8年1月19日	鹿児島県食生活改善推進員連絡協議会伊集院支部研修会参加者
	令和8年1月21日	鹿児島県地域女性団体連絡協議会地区代表者
会員以外への セミナー	令和7年4月8日	MBCマーケティング懇談会会員
	令和7年4月15日	南日本広友会会員
	令和7年5月12日	始良市認定農業者の会総会
	令和7年6月10日	鹿児島県食品産業協議会通常総会
	令和7年6月23日	かごしま農業経営研究会総会
	令和7年6月27日	鹿児島ロータリークラブ会員
	令和7年7月11日	鹿児島農業経営アドバイザー連絡評議会
	令和7年7月25日	さつま町認定農業者・農業委員
	令和7年7月27日	鹿児島市田上台地区の消費者
	令和7年8月26日	県内のJA営農指導員
	令和7年9月28日	かごしま協同集会2025参加者
	令和7年10月5日	放送大学の学生
	令和7年10月6日	JA鹿児島県青壮年組織協議会会員
	令和7年10月7日	県内のJA役職員
	令和7年10月28日	鹿児島市内の消費者
	令和7年11月16日	日置市日置地区の消費者
	令和7年11月23日	和泊町農業祭参加者
	令和8年1月15日	県外に本社のある企業の鹿児島支店長等
	令和8年1月22日	環境にやさしい持続可能な農業推進研修会
	令和8年1月30日	令和7年度南薩地区農林技術協会研修会



日置市地域女性連絡協議会での講演



鹿児島県食生活改善推進員連絡協議会
伊集院支部研修会での講演

小・中学生向けパンフレットの作成・配布

鹿児島県教育庁を通じて、鹿児島県内の公立小学校及び中学校へ資料のデータを送付。

「みどりの食料システム戦略」の取組 (これからは、環境にやさしい農業と地産地消が大切！)

**地球温暖化が、社会的な問題になっているよね！
温暖化の要因は、温室効果ガス(CO₂, CH₄等)の増加なんだよね！**

温暖化の影響で、日本の平均気温は、100年で1.40℃上昇！
集中豪雨も増えて、農作物がとれにくくなっているよ。
それに、紛争や異常気象によって、穀物や肥料・農薬の原料の輸入も心配されるんだよ。

鹿児島県の年平均気温
1975年 (日最高気温の月平均の最高値31.9℃) 17.7℃
2023年 (日最高気温の月平均の最高値32.9℃) 19.5℃
+1.8℃

熊本豪雨 (2020年) 台風10号 (2024年)

農作物の収量減少・品質低下

農林水産省は、「みどりの食料システム戦略」を作って、地球温暖化等の課題解決につなげることになっているんだよ！

2050年を目標として
・CO₂排出量をなるべくゼロにしよう！
・化学農薬の使用を50%減、化学肥料の使用を30%減しよう！
・有機農業を25%(100万ha)に拡大しよう！
など

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

鹿児島でも、「環境にやさしい農業」に取り組んでいるよ！

【有機農産物】 農薬や化学肥料等に極力頼らず、自然界の力で生産
【IPM栽培】 農薬の代わりに、テントウムシなどを使って、害虫を退治

知らなかった！これからは、環境にやさしい農業が大切だね！

農林水産省
九州農政局

「地産地消」って知ってる？ (みんなが食べている食材は、どこで生産されたもの？)

最近食べすぎてお腹が…。何か良い方法はないかな？

そんなときは、「食事バランスガイド」がおすすめだよ！

「主食」「副菜」「主菜」「牛乳・乳製品」「果物」の5つのグループをまんべんなく、コマの形になるように食べると、バランスのとれた食事になるんだね。
給食は、バランスばっちり！

ところで、クマさん。給食の食材ってどこで生産されたものか知ってる？

そういわれると、あまり考えたことなかったなあ…。

鹿児島県内で作られたものを食べることを地産地消っていうんだよ！

例えば、
・給食に使われている食材は何だろう？
・どこで作られているんだろう？
・どんな栽培方法なんだろう？
なんて考えながら食べると、まだまだしっと変わってくると思うよ！

きびなご：○○産
黒糖：△△産
米：○○産
野菜：△△産
牛乳：◇◇産

**地産地消かあ！
食材が鹿児島県産って分かると、消費者も安心して食料を買えるし、農業者も売り先がはっきりして、安心だよ！是非、今度調べてみよう！**

鹿児島県産品のページは、こちらから

環境にやさしい農産物などを使用した料理教室

鹿児島県栄養士会とのコラボ企画により、料理教室を実施。

試食のときに、「これからは、環境にやさしい農業と地産地消が大切！」と題して講話を実施。

【6月21日（土）】

有機野菜やIPMオクラなどの環境にやさしい農産物、暑さに強く品質が低下しにくい米として開発された「あきの舞」のほか、地産地消も意識して、ジビエ肉（鹿・猪）を使用。



鹿肉のスペアリブ・猪肉の味噌漬けにIPMオクラを添えて

【9月27日（土）】

かごしまブランド農畜産物や有機野菜、有機調味料、喜界島産の有機黒糖などを使用。



有機黒糖をかけた甘酒ヨーグルトアイス

【1月31日（土）】

桜島大根やGI登録の枕崎鰹節、かごしま農業女子プロジェクト会員が生産した農畜産物を使用。



春菊のみかんソース和えと鰹だしで作る桜島大根のクリームスープ

九州農政局鹿児島県拠点のホームページ

https://www.maff.go.jp/kyusyu/kagoshima/070621_Past_tense.html

環境にやさしい農産物のPR販売（1）

スーパーなどの店頭で、消費者に対して、環境にやさしい農産物の価値を直接伝える！

【7月27日（日）】

「Aいぶすきオクラ部会とのコラボ企画により、Aコープいしき店において、**IPM栽培オクラのPR販売**を実施。

「オクラの浅漬け」の試食も実施。



（Aコープいしき店PR販売の様子）



（オクラの浅漬け）

【12月6日（土）～7日（日）】

（12月8日は、有機農業の日）

イオンモール鹿児島において、**有機野菜のPR販売**を実施。環境負荷低減の見える化の「みえるらべる」を表示した白ネギも販売。



（イオンモール鹿児島PR販売の様子）



（「みえるらべる」の白ネギ）

九州農政局鹿児島県拠点のホームページ

<https://www.maff.go.jp/kyusyu/kagoshima/070727.html>

環境にやさしい農産物のPR販売（2）

【2月7日（土）～8日（日）】

ニシムタスカイマーケット鴨池店において、**有機ブロッコリー**や**IPM栽培ピーマン**、**K-GAP認証イチゴ**などのPR販売を実施。

有機栽培のポンカンの試食も実施。



（PR販売の様子）



（ポンカンの試食）

【2月7日（土）】

山形屋ショッピングプラザ明和店において、**有機葉ニンニク**や**IPM栽培ピーマン**、**K-GAP認証トマト**などのPR販売を実施。



（PR販売の様子）



（K-GAP認証トマト）

【2月21日（土）】

A コープいしき店において、**有機白菜**や**IPM栽培ピーマン**、**K-GAP認証のトマト**や**イチゴ**などのPR販売を実施。

また、**有機生産者による対面販売**も実施。



（PR販売の様子）



（K-GAPイチゴやIPMピーマン）

九州農政局鹿児島県拠点のホームページ

<https://www.maff.go.jp/kyusyu/kagoshima/070727.html>

オーガニック・地産地消等ツアールート

「自然」×「産業」×「有機食材等」



鹿児島の
付加価値向上！

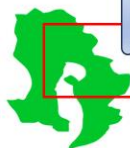
鹿児島県の魅力を、県民、
県外や海外からの観光客
に披露し、おもてなしの
ヒントとしていただくため、
7つのルートを作成。

ルートのQRコード
はこちら



【お問い合わせ先】
九州農政局鹿児島県拠点
電話099-222-5840

鹿児島県のオーガニック・地産地消等ツアールート (錦江湾一周)



①道の駅「桜島」火の島めぐみ館
住所：鹿児島市桜島1722-48
メモ：桜島小みかん、桜島大根など、地元ならではの農産物がいっぱいです。
☎099-245-2011
物産直売所：毎月第3月曜日祭祭日の場合翌日
レストラン毎月第1月曜日祭祭日の場合翌日

②黒酢ガーデン壺畑ショップ&レストラン
住所：霧島市福山町福山3075
メモ：江戸時代から続く伝統製法で造られた飯元のかろすを愛用した体にやさしい料理を楽しむ。「くろす酢豚」や「豚鉄湯麺」などのお食事、ショップ、見学可能。休日：12/31~1/1 ☎0995-54-7200
[情報館] 9:00~17:00 [レストラン] 10:00~17:00

③国分物産館じょうもん市場
住所：鹿児島県鹿児島市国分中央五丁目3番10号
メモ：地元の農産物や農産加工品、郷土のお菓子、弁当、工芸品、雑貨、木や花の苗などを販売 定休日：1/1~1/5 ☎0995-45-3322

④森のかぞく 始良店
住所：始良市東部田399-11
メモ：そのやま農園と協力農家の有機野菜、加工品、お弁当やお惣菜を販売するオーガニックショップ 営業時間：10時~17時 定休日：月曜日 ☎0995-55-1695

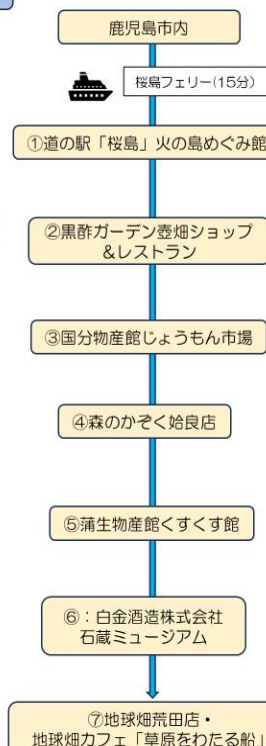
⑤蒲生物産館くすくす館
住所：始良市蒲生町上久保2539-1
メモ：有機農産物のほか お弁当・お惣菜・加工品等を販売 営業時間：9時~18時 定休日：年末年始（12月31日~1月3日） ☎0995-54-3099

⑥：白金酒造株式会社 石蔵ミュージアム
住所：鹿児島県始良市願元1933
メモ：焼酎の購入や附近での製造見学可（要予約） ☎0995-67-1496（受付時間：10:00~17:00/水曜定休）

⑦：地球畑荒田店・地球畑カフェ「草原をわたる船」
住所：鹿児島市下宿田3-17-1
メモ：（有）かごしま有機生産組合の直営店 荒田店：10:30~19:00 ☎099-812-0668
カフェ：ランチ11時~15時（ラストオーダー14時半） カフェ14時半~16時半（ラストオーダー16時） 定休日：毎週月曜日

③龍門海
④蒲生の大木
⑤上野原縄文の森
⑥始良市
⑦霧島市
⑧鹿児島市
⑨垂水市
⑩桜島

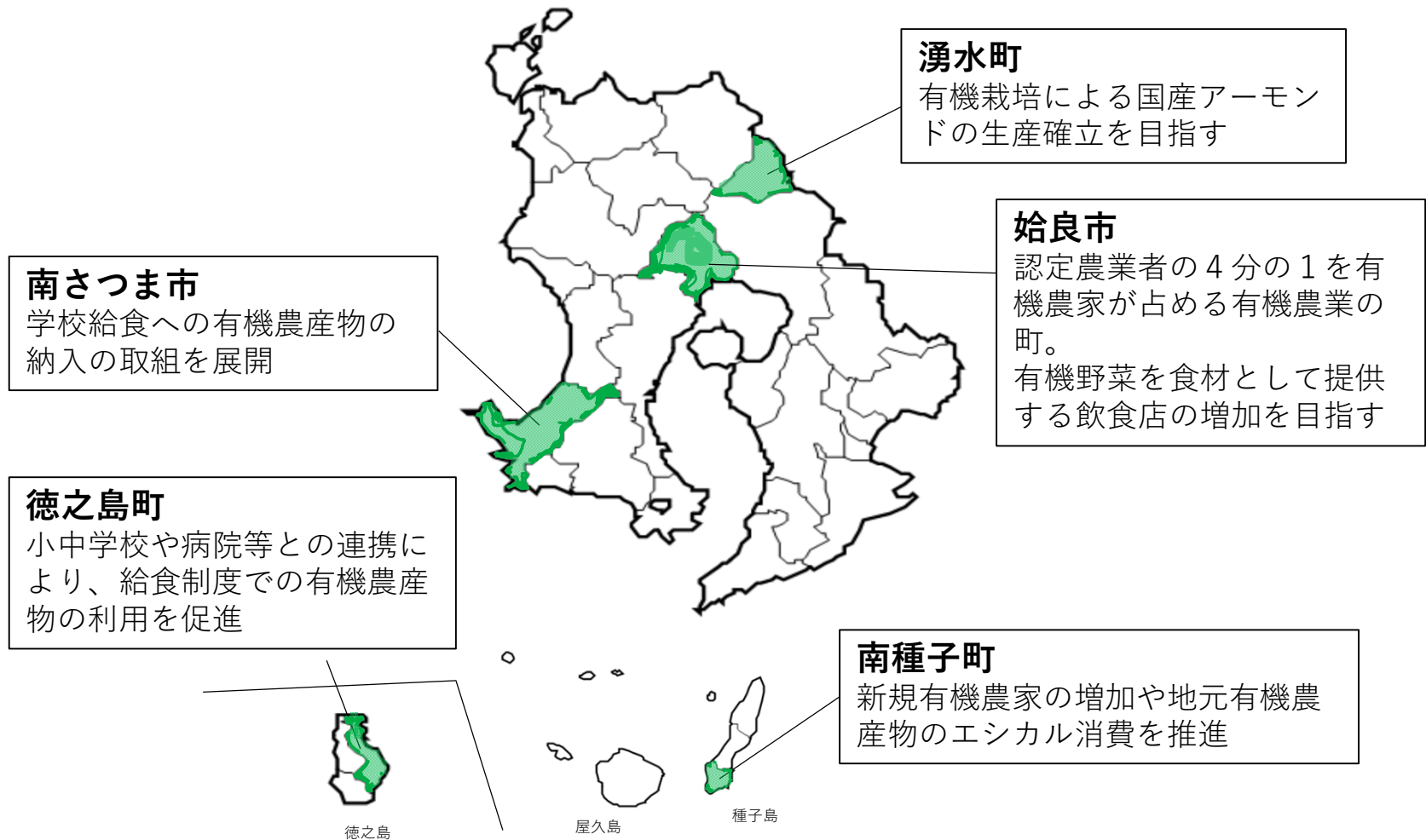
モデルコース



九州農政局鹿児島県拠点のホームページ

https://www.maff.go.jp/kyusyu/kagoshima/Introduction_to_the_course_in_the_southern_Satsuma_area.html

「オーガニックビレッジ」宣言をしている 鹿児島県の自治体は、5市町！



※令和7年2月7日時点で、**鹿児島県は5市町**

(参考) オーガニックビレッジ宣言をしている 始良市の「煮しめグランプリ」に参加してきました。

- ・ オーガニックビレッジ宣言をしている始良市が、令和8年1月24日（土）から25日（日）にかけて、「第6回始良市煮しめグランプリ」を開催。鹿児島県拠点から「MAFFの仲間たち」として参加。
- ・ 審査では、環境への配慮のこだわりが認められ、**審査員特別賞を受賞しました。**

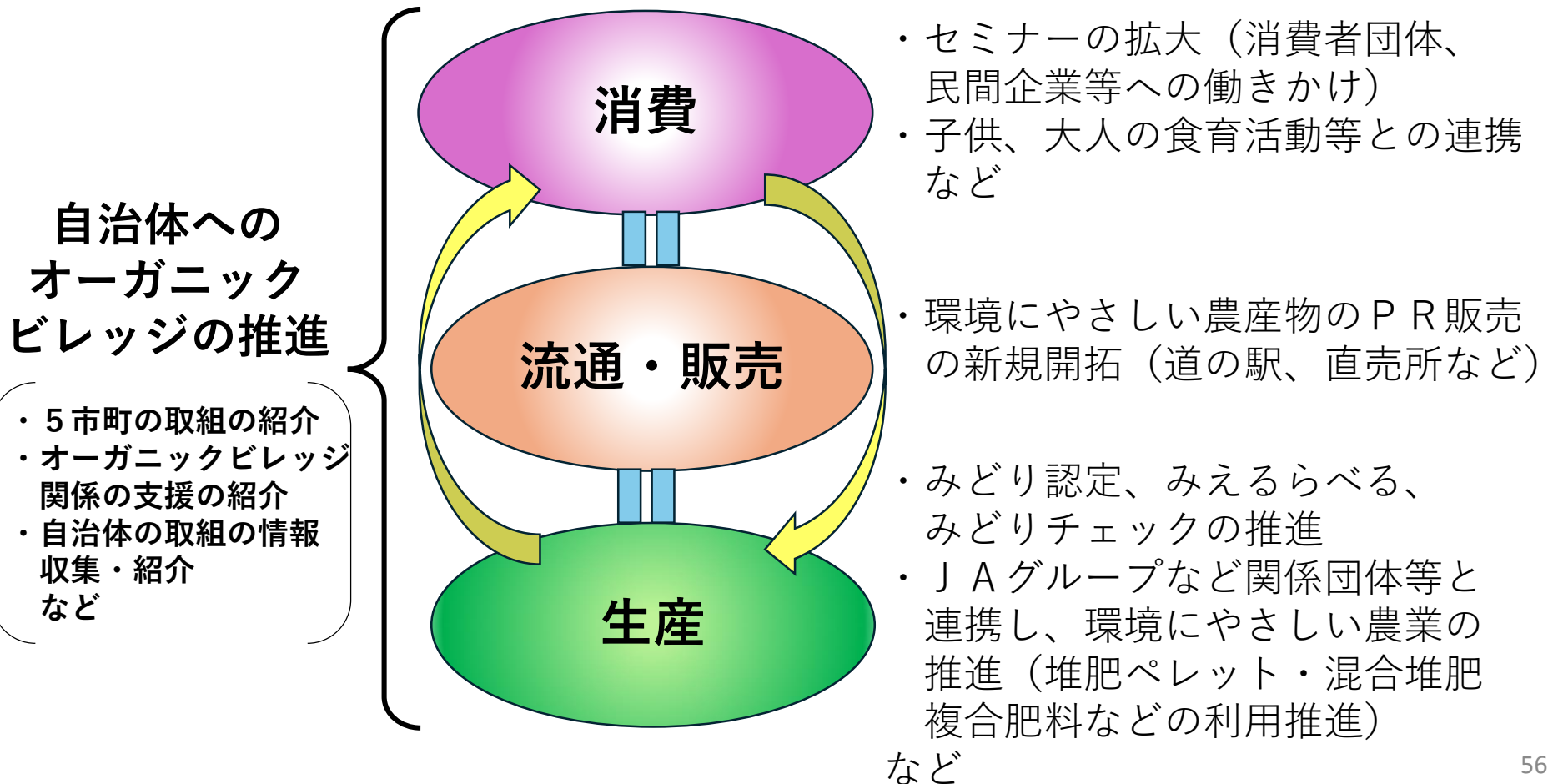
【有機・無添加・地産地消にこだわった環境にやさしい食材を使用】

- ・ ぶつ切地鶏（始良市産）
- ・ 有機にんじん（始良市産）
- ・ 有機だいこん（始良市産）
- ・ 有機ごぼう（始良市産）
- ・ 有機さといも（始良市産）
- ・ 有機菜花（始良市産）
- ・ 有機こんにゃく
- ・ 有機厚揚げ
- ・ 有機切干大根
- ・ 原木乾しいたけ
- ・ 昆布（利尻産）
- ・ 島ザラメ（喜界島産）
- ・ 天然塩
- ・ 黒酒
- ・ 有機醤油
- ・ 有機本格みりん



令和8年度みどりの食料システム戦略の推進 (コンセプト)

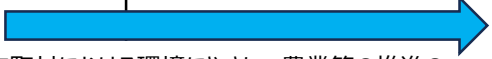
- ・ 環境にやさしい農業と地産地消に関心を持ってもらう人を増やし、環境に配慮した栽培方式への転換、需要に応じた生産へと繋げる！
(みどりの食料システム戦略のKPIの達成に資する効果的な取組を企画)



みどりの食料システム戦略に関する令和8年度取組計画

- みどりNWの活動
 - ・ みどりNW情報交換会の開催
- 消費
 - ・ 消費者等セミナー（鹿児島県栄養士会との料理教室、消費者団体、民間企業等への働きかけ）
- 流通・販売
 - ・ 環境にやさしい農産物のPR販売
 - ・ 販売店舗のマッピング化（道の駅、直売所など）
- 生産
 - ・ JAグループなど関係団体等と連携し、環境にやさしい農業の推進（堆肥ペレット・混合堆肥複合肥料などの利用推進）
- オーガニックビレッジの推進
 - ・ 市町村の取組における環境にやさしい農業等の推進の取組の情報収集、情報発信（生産、流通、消費(学校給食など)への有機農産物等利用の状況）

令和8年度の取組スケジュール

取組項目・内容	令和8年4月～6月	7月～9月	10月～12月	令和9年1月～3月
【みどりNWの活動】 ・みどりNW情報交換会の開催		第1回（7／9） 		第2回 
【消費】 ・消費者等セミナー （企業等へのセミナー、料理教室）	みどりNW会員の消費者団体や民間企業等へ働きかけ 	第1回料理教室 	セミナーの開催 	第2回料理教室 
【流通・販売】 ・環境にやさしい農産物のPR販売		鹿児島市内外のスーパー等への働きかけ 		
・環境にやさしい農産物の取扱店舗マップ		IPMオクラのPR販売（7/25） 	各店舗におけるPR販売 	
【生産】 ・関係団体（JA経済連、有機生産者団体）と連携した地域資源の利用推進	取扱店舗の情報収集 	マップを作成（10月を目途） 	オーガニックフェスタ等のイベントでの配布及びWeb、SNS等での紹介 	
【オーガニックビレッジの推進】 ・市町村における環境にやさしい農業等の推進の取組の情報収集、情報発信	チラシを作成 	地域資源の利用促進に向けた研修会の開催 	Web、SNS等での紹介 	
	市町村における環境にやさしい農業等の推進の取組状況の情報収集 		オーガニックビレッジ宣言に向けた働きかけ（市町村長との意見交換の機会に） 	

消費者等向けセミナーの開催

【これまでの取組】

- ・ 5月29日 第一幼児教育短期大学
- ・ 6月26日 生協コープ鹿児島みどり戦略学習会
- ・ 6月19日 パーム保育園・パームコスモス保育園
- ・ 6月23日 鹿児島青果（株）生産者懇談会
- ・ 6月23日 経済同友会例会
- ・ 6月30日 さつま町環境保全畑農業者グループ研修
- ・ 7月1日 JA女性組織リーダー・フレッシュミズ事務局合同研修会

【6月19日（金）】

パーム保育園・パームコスモス保育園（日置市）において、園児を対象に米ができるまでの話やバケツ稲の育て方を体験してもらうなどの食育活動を実施。



パーム保育園・パームコスモス保育園での様子

環境にやさしい農産物等を使用した料理教室の開催

○ 令和8年9月頃

「食欲の秋」

有機等の秋野菜などを使った「郷土料理」をイメージ。

○ 令和9年3月頃

「春の訪れを感じる季節」

有機等の春野菜などを使った彩り豊かな「行事料理」をイメージ。



※ 会場はカクイックス交流センターを予定。今後、県栄養士会と相談。

環境にやさしい農産物のPR販売の開催

- ・ 7月25日(土) IPMオクラのPR販売

A コープいしき店

【今後の予定】

- ・ 12月8日「有機農業の日」を皮切りに

日程調整

イオンモールKAGOSIMA BAY

株式会社 A コープ鹿児島

株式会社ニシムタ

株式会社山形屋ストア

- ・ 新たな取組先候補

株式会社タイヘイ吹上店

株式会社タイヘイ P i c o 店

イオンタウン始良

※アンケートを行い、消費者の感触をフィードバック

プレスリリース

令和8年7月 日
九州農政局鹿児島県拠点

「環境にやさしい農産物のPR販売」の開催について

地球温暖化等の課題に対応し、持続可能な農業を目指す「みどりの食料システム戦略」の推進の取組の一環として、化学肥料や農薬の使用量を削減した農業や有機農業といった環境にやさしい農業により生産された農産物の価値を直接消費者に伝え、そのような農産物を選択肢の一つに加えてもらい、需要に応じた生産の拡大につなげることを目的として、環境にやさしい農産物のPR販売を開催します。

1. 開催日時

令和8年7月25日（土曜日） 09時30分～13時00分

2. 開催場所・内容

Aコープいしき店（鹿児島市）
JAいぶすきオクラ部会担当者による対面販売
IPM栽培オクラの試食販売など

3. 取り扱う農産物

IPM栽培オクラ

※IPM（総合的病害虫・雑草管理）とは、病害虫の天敵や病害虫が嫌う光の利用などにより、化学農薬の使用量を抑える栽培方法です。



「かごしまのIPM」PRキャラクター「チームマモット」



IPMを活用した環境に優しい農業の取組事例について



(参考) 首都圏の店舗での売り場の事例

(慣行栽培と有機JASの農産物の違い(価値)を伝える)



さて、鹿児島
の店頭は？

(店頭では、農業者が生産した
農産物を積極的にPR)



環境にやさしい農産物の取扱店舗マップの作成

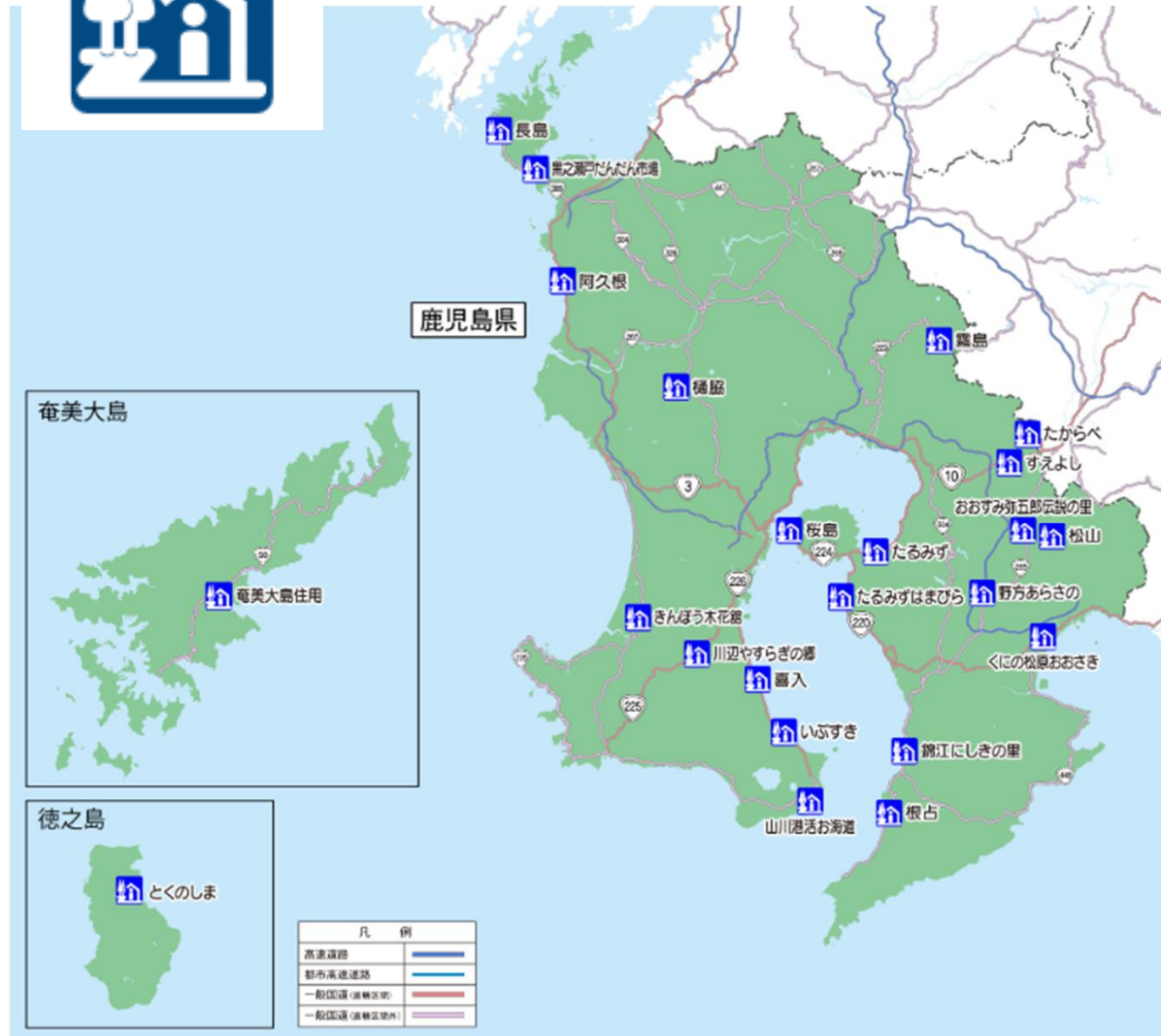


県内23か所の「道の駅」、
各地の「物産館」などを
巡り、

環境にやさしい農産物の
取扱マップを作成



県内外の方の
買い物のヒントに！



地域資源の利用推進（堆肥ペレットなど）

第1弾として、JA鹿児島県経済連とコラボ！

農業者の皆さまへ

これからは、環境にやさしい農業が大切！

農林水産省では、環境にやさしい農業を実現するため、「みどり認定」、「みどりチェック」、「みえるらべる」の取組を進めています！

1.「みどり認定」とは？ 詳しくは 

「みどりの食料システム法」に基づき、**化学肥料・農薬の使用低減、省エネ、温室効果ガスの排出量の削減**などに取り組む農業者を認定する制度です。一人でもOK、地域の仲間と一緒にでもOK。

認定されたら… 国庫補助金の採択で優遇、税制優遇などのメリットあり！

2.「みどりチェック」とは？ 詳しくは 

日頃の事業活動の中で、**新たな環境への負荷が生じないよう、「適正な施肥」など7つの基本的な取組を実践すること**です。チェックシートへの記入と提出が必要です！

ポイント → R9年度から、農林水産省の補助事業活用の要件になります！

3.「みえるらべる」とは？ 詳しくは 

化学肥料・農薬、プラスチック資材、燃料・電力等の使用削減などによる**「温室効果ガス削減への貢献」、「生物多様性保全への配慮（※米に限る）」を星の数で表した**ものです。国への利用登録が必要です。

登録されたら… 環境負荷低減のPRで、消費者の信頼アップ！

裏面で、化学肥料の使用量の削減に向けて、鹿児島県内の地域資源を活用した肥料をご紹介します！

【問い合わせ先】 農林水産省九州農政局鹿児島拠点
TEL:099-222-5840 E-mail:kagoshima_sanjikan@maff.go.jp

鹿児島県拠点HP 

鹿児島の地域資源を使った

「低コスト」で「環境にやさしい」肥料があります！！

Vol.1:「JA鹿児島県経済連」編

鹿児島県は、全国でもトップクラスの畜産県です。県内の豊富な家畜堆肥を活用した「低コスト」で「環境にやさしい」肥料をご紹介します！

このような悩みありませんか？

- ・最近化学肥料が高いなあ…
- ・堆肥の運搬や散布が大変…
- ・近隣への堆肥の臭いが心配…
- ・何か環境にやさしい肥料はないかなあ…

JA鹿児島県経済連では、**ペレット堆肥の製造、混合堆肥複合肥料の取扱い**を行っています。更に、それらを活用した**低コスト肥料「リッチシリーズ」を開発し、低コスト化と化学肥料の低減に取り組んでいます！**

※リッチシリーズは園芸、水稻、お茶、果樹用などがあります！

これなら、「コスト低減」に加えて、「環境にもやさしい」農業にも取り組むことができる！
ペレット化されているので、臭いも心配なし！
運搬や散布も効率的にできそうだ！

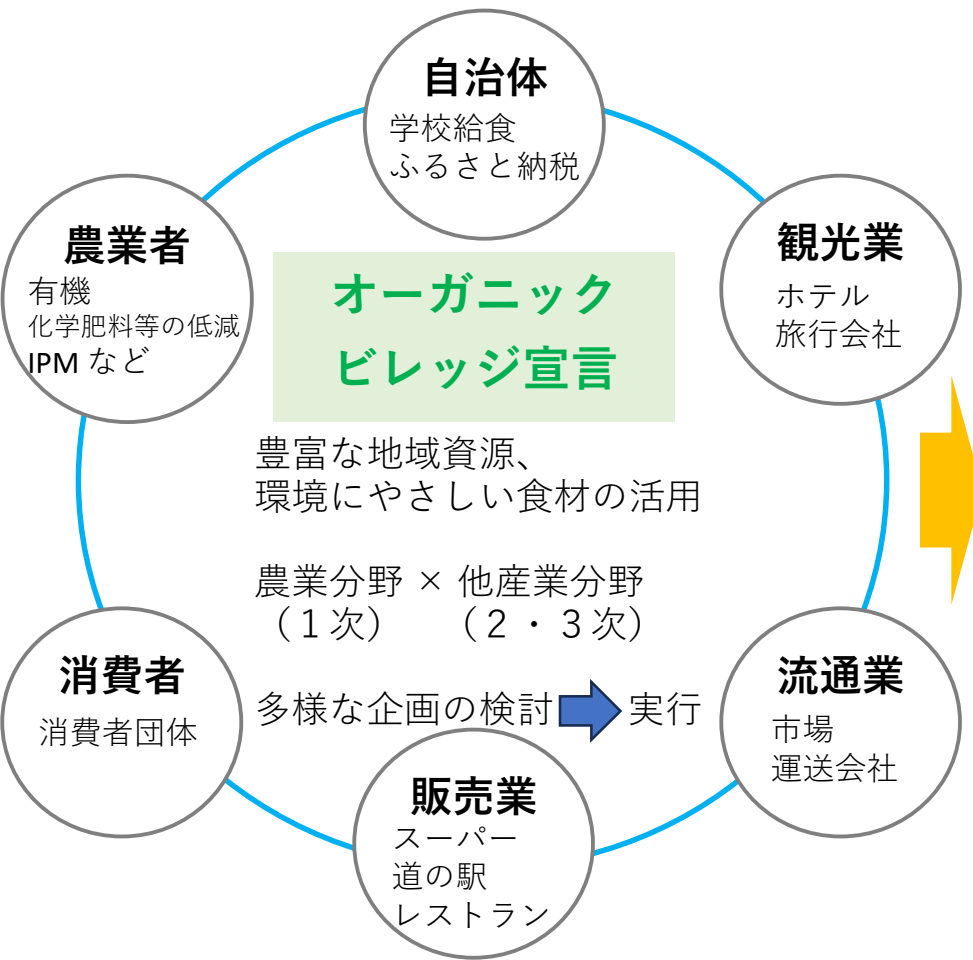
混合堆肥複合肥料、リッチシリーズ等の詳細はこちらをチェック！（JA鹿児島県経済連HP） 

【問い合わせ先】 農林水産省九州農政局鹿児島拠点 TEL:099-222-5840 E-mail:kagoshima_sanjikan@maff.go.jp

オーガニックビレッジの推進

地域資源をフル活用し、鹿児島を盛り上げる！

- ・ 鹿児島には、自然、農産物等の地域資源が豊富
- ・ 各産業の関係者がコンソーシアムを組成し、「オーガニックビレッジ宣言」
- ・ 各産業分野が連携し、オーガニックをテーマとした各種イベントを企画
- ・ 農林水産省が政策等で後押し



有機農業の拡大



スーパーでの販売



ホテルでのイベント



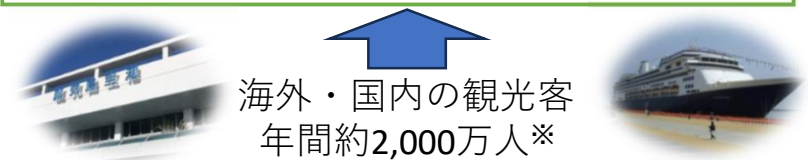
観光ルートの確立



学校給食での地場食材の活用（日本型食生活）



直売所・道の駅での販売



海外・国内の観光客
年間約2,000万人※

鹿児島・産業の持続的な発展

※R6年「延べ宿泊者数」と「延べ日帰り客数」の合計（「鹿児島県観光統計」から引用）

農林水産省九州農政局鹿児島県拠点では SNSの公開ページを開設しています！

農政の動き、鹿児島県拠点の活動レポートなど、
タイムリーに配信いたします！

Facebook



九州農政局鹿児島県拠点



リンク先
→<https://www.facebook.com/kagoshimakenkyoten>

Instagram



リンク先
→https://www.instagram.com/kagoshima_info2024/

X(エックス)



リンク先
→https://x.com/kyushu_kago

ご清聴、ありがとうございました。

**資料に関するお問い合わせは、
九州農政局鹿児島県拠点をお願いします。**

連絡先：099(222)5840

E-mail： kagoshima_sanjikan@maff.go.jp

農林水産省九州農政局鹿児島県拠点のホームページ
<https://www.maff.go.jp/kyusyu/kagoshima/index.html>



鹿児島県拠点 HP↓